

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービス ふぁみりあ

## 支援プログラム

作成日

令和 6 年

12 月

27 日

法人（事業所）理念		<p>・子ども自身が自由に表現できる場所になるよう、その子自身のペースを大切にします。</p> <p>・お子様に必要な「社会とのつながり」や「社会に出た時に役立つ能力が持てる」事を目指します。</p>	
支援方針		日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応する事ができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。	
営業時間		<p>平日 10:00 ～ 19:00</p> <p>学校休業日 9:00 ～ 18:00</p>	<p>送迎実施の有無</p> <p>あり なし</p>
支援内容			
本人支援	健康・生活	生活リズムの形成や健康状態の維持ができるよう日常生活動作に関わる支援を行う。検温・手洗い・消毒などで清潔、感染予防を意識づけ、利用児の状態確認、体調管理をする。ロッカーや靴箱の場所を視覚的に認識させ、所持品の始末を通して自分の持ち物への意識をつけていく。排泄・衣服着脱・食事の仕方などスモールステップで習得できるようサポートし、身の回りの事を自身でする力を付けていく。	
	運動・感覚	姿勢や身体の動かし方や使い方やそれに伴う感覚の捉え方を知る機会を設ける。バランス感覚・触覚・固有感など感じられるように戸外遊びや運動、リミック、関わり遊びなどを動いて楽しみながら、運動機能の向上を図る。制作活動でのお絵描き・のり・粘土・絵の具など使う事や戸外で自然物に触れて、感覚や感触が感じられる体験をする。日常生活で必要な動作（体や手指の使い方）が身に付くよう丁寧に関わる。	
	認知・行動	指示の明確化を図り個々の発達に合った方法（言葉・指さし・誘導等）「はじまり」と「終わり」を意識させ、取り組みを終わりまでやり切れるよう状況や見通しを持たせる言葉掛けを行う。一連の流れを確認しながら行動の促しをする。遊びや日常生活の中で形・色・大きさなど違いや選択する事で物の数量・形状の認識する力を養う。	
	言語コミュニケーション	動作や状況に応じて言葉を用いた声掛けをしていき、言葉の理解を深めていく。手遊び歌や絵本の読み聞かせをして、見て聞いて楽しみながら言葉を感じ取れるようにする。また要求や手伝いを求める時に思いを代弁し、発達に応じた手段（言葉での伝達・サイン・動作での表現方法など）での伝達方法が増やせるようにしていき、自分の思いを受け止めて貰える肯定感や、人の話を聞く姿勢を持ち、遊びや人との関わりの中でコミュニケーション力が育まれるように支援する。	
	人間関係社会性	身近な大人や他児と一緒に過ごし、愛着や信頼関係を築けるようにする。遊びを通してやり取りに必要な言葉の使い方や友達との関わり方を学び、円滑にコミュニケーションが取れるようにする。	
家族支援		利用児の発達に関する相談助言、家庭内や子育てなど保護者の困りごとに対しての相談援助、兄弟家族に関する相談助言、事業所利用に関する相談など。	<p>移行支援</p> <p>必要に応じて保育園、幼稚園の先生と利用児の様子や変化について話し合い、情報共有する。</p>
地域支援・地域連携		保育園・幼稚園・保健センター・市町の児童発達支援事業所・医療機関・児童相談所等と連携を取り、情報共有して利用児・親支援・相談援助等の取り組みを図る。	<p>職員の質の向上</p> <p>虐待防止・身体拘束等の外部研修参加や社内研修の実施外部の研修参加、支援内容や問題の早期解決の為の日ごとの申し送りの徹底</p>
主な行事等		スポーツ教室、調理実習、おやつ作り、外出（買い物体験・公園など）、避難訓練、美容師訪問（散髪） 季節の行事…節分、ひな祭り会、夏祭り、水遊び、七夕会、ハロウィン、クリスマス会	